表紙

令和7年度（2025年度） 学力向上推進委員会（国語部会）

【研究主題】

『はちおうじっ子の基礎的・基本的な学力の定着をめざして』

～言葉による見方・考え方を踏まえた授業改善を通して～

【研究主題設定の理由】

本市では、すべての児童・生徒に、義務教育終了段階における出口の学力を保障することを目標として、令和5年度から社会生活を営む上で最低限身に付けるべき学習内容（小学校第5学年修了程度）から抽出した問題を「はちおうじっ子ミニマム」と位置付けて取り組んできた。令和7年度は、4月と11月の年2回、「はちおうじっ子ミニマム」を実施・分析し、各校の授業改善に向けて取り組んだ。しかし、学校現場では、学習内容が定着していない児童・生徒に対して、どの段階まで遡って指導すれば良いか戸惑う声が多かった。また、児童・生徒が言葉による見方・考え方を働かせる授業が展開されなければ、既習内容を活かした学びが期待できない。そこで、「はちおうじっ子ミニマム」の結果から分析した、「漢字の読み」、「漢字の書き」、「漢字の正しい使い方」、「文章読解」の4つの視点から授業改善を図り 、義務教育修了段階における出口の学力を保障することをめざす。

はちおうじっ子ミニマムの結果から分析した【4つの視点】

- 漢字の読み
- 漢字の書き
- 漢字の正しい使い方
- 文章読解



◆◆【令和7年度の取組】

・令和7年度はちおうじっ子ミニマムの結果分析・類似問題の作成
・令和8年度はちおうじっ子ミニマムの問題作成
・4つの視点を基にした授業改善を踏まえた授業実践
・はちおうじっ子ミニマムを活用した実践授業をまとめたリーフレットの作成

●『漢字の読み』・『漢字の書き』

○児童・生徒の実態

【漢字の読み】

・漢字のつくりから読みが推測できない。
・読み方がわからないから、知っている言葉の中で似たようなものを書いてしまう。

【漢字の書き】

・漢字を覚えていないので書くことができない。
・漢字を丁寧に書けない。



【実践その1】

○漢字ビンゴ

①3×3のマスに学習した漢字を書く。
②教師がランダムに、漢字を発表する。
③児童は、書いた漢字を消していく。
※ビンゴのルールはクラスで決めるとよい。
※実態に合わせて、5×5にしてもよい。
※漢字の数を限定して、その中から選ぶようにする。
例:15個の漢字から 9 個を選んで書く。

家	歌	回
星	室	角
馬	門	麦

【実践その2】

○漢字穴埋めゲーム

①単語を4つ考える。
②穴埋めにする部分を決める。
③問題を出す。
④答える。

答え
「動」「修」

感 → □ → 詞　　激 → □ → 向

履 → □ → 学　　必 → □ → 士

【実践その3】

○漢字たし算

①習った漢字を分解する。
②それをたし算の形で示す。
③どの漢字が分解されているのか、お互いに考えさせる。

例:

① 木 ＋ 木 ＝ ？
② 糸 ＋ 口 ＝ ？
③ 土 ＋ 寸 ＋ 日 ＝ ？
④ 口 ＋ 口 ＝ ？
⑤ ム ＋ 八 ＝ ？
⑥ 水 ＋ 糸 ＋ 白 ＝ ？

答え
① 林
② 結
③ 時
④ 回
⑤ 公
⑥ 線

●『漢字の正しい使い方』・『文章読解』

○児童・生徒の実態

【漢字の正しい使い方】

・パソコンで変換はできるが、直筆になると書けない。
・語彙として意味を理解できていない。

【文章読解】

・語彙が少ないから、難しい文章への抵抗感がある。
・意味が分からなくても推測しようとしないで諦めてしまう。



【実践その1】

○間違い探し

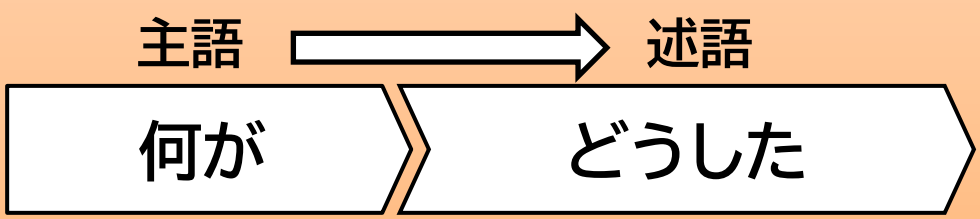
①言葉の意味が違う簡単な文をつくる。(同音異義語)
②作った文を読む。
③言葉の意味が違うところを探す。
④正しい言葉に直す。

例)あさがおの<u>鼻</u>は、とてもきれいだ。
私の教科書は、<u>以上</u>に古いと思う。

【実践その1】

○「何がどうした」ゲーム

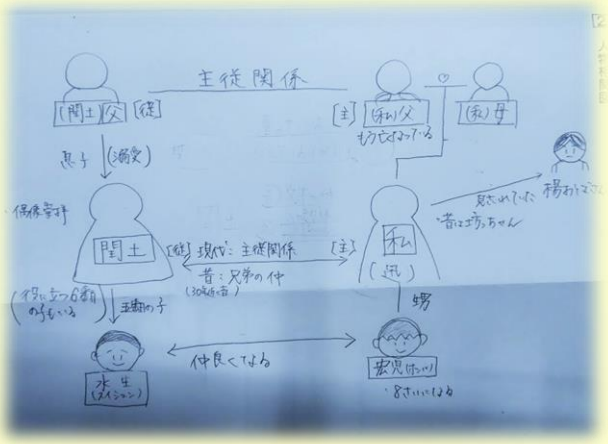
①絵(イラスト)や写真を用意する。
※(何が)、(どうした)がつくれるものを用意するとよい。
②絵を見て、基本の文(主語と述語)をつくる。
●キーワード:「何(だれ)が」、「どうした」
例:「ぼくは、食べる。」
③絵を詳しく説明するために、基本の文(主語と述語)に修飾語などを1つずつ付けたして、文を完成させる。
例:「ぼくは、アイスクリームを食べる。」
↓
「青いTシャツを着たぼくは、アイスクリームを食べる。」



授業実践

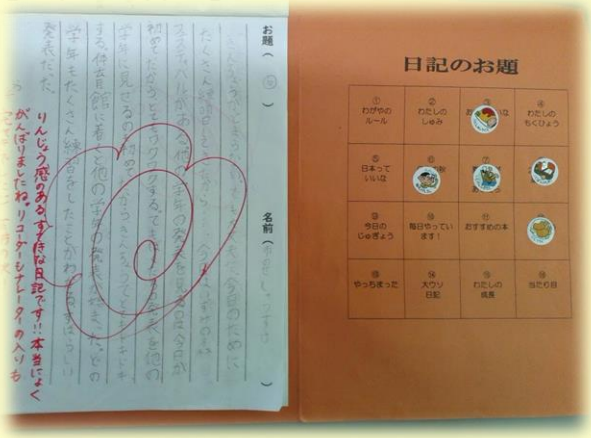
●実践の様子

【人物相関図の活用】



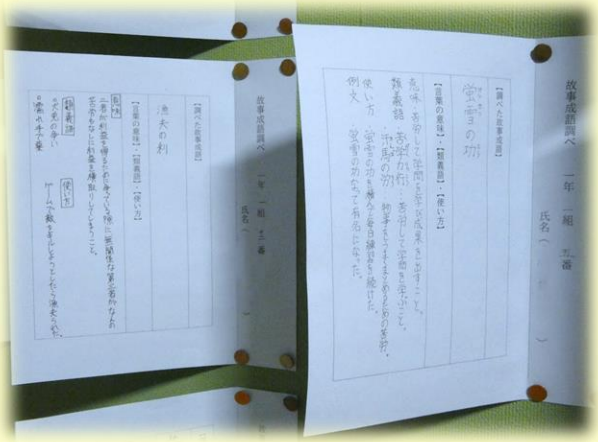
範読を聞いた後に、登場人物を挙げて、大まかな関係図を書きます。本文から読み取れる登場人物の外見や性格に関することを書き、矢印等を使用して関係図にすることで、作品の全体像を捉えることができます。

【日記の活用】



テーマを提示することで、子どもたちは、意欲的に取り組むことができます。また、書くことへの抵抗感が少なくなります。

【ワークシートの活用】



故事成語を一人一つ調べ、共有します。故事成語の意味や由来等を自分の言葉でまとめることによって、知識の定着につなげることができます。

【掲示物の活用】



国語教室の壁一面に、説明文・論説文の読み取り方、小説の構造、国語で使用する学習用語を掲示します。授業中に、掲示物を確認しながら思考したり、用語を適切に使用して発言したりできます。

【令和7年度 学力向上推進委員会（国語部）委員一覧

中山中学校	校長	坂内 聡	石川中学校	主任教諭	生沼 資康
由木西小学校	校長	植杉 義久	浅川中学校	主任教諭	松枝 香久美
打越中学校	副校長	榎本 智也	上柚木中学校	教諭	萩原 啓
元木小学校	副校長	増本 寿			
第五小学校	教諭	永井 龍青			
いずみの森義務教育学校	教諭	有働 文佳			